

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス能登川		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日		～ 2026年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日		～ 2025年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもは安心感をもって通所していますか。	『安心、安全、楽しく』児童たちが過ごせるように常に意識して支援を出している	信頼関係をさらに深める発信の工夫/行事の偏り、保護者さんへの交流も含めて、より良い施設を心がける。
2	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	はじめて放課後等デイサービスを利用する利用者も多いため、利用者の立場になり、分かりやすく丁寧に説明することを心がけた	説明内容の見える化・振り返りの機会づくり/定期的な支援の内容の確認と共有
3	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	一つのチームとして、『安心して、安全に、楽しく』利用者に通所していただけるよう、常に意識ができて取り組んでいた/定期面談、終礼等での意見の共有	今後も引き続き、職員全員で同じ方を向き業務していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない	機会がないこと、機会を持ちにくいことが考えられる	児童クラブへの働きかけも含めて、月一回の地域へのクリーン活動の実施と自治会への挨拶を欠かさず行い、その中で児童同士の繋がりを作っていく
2	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が十分に行われていなかった	送迎の遂行や日常業務が優先され、面談等の時間の確保が十分ではなかった	定期面談の仕組みを明確化・計画化する/子育てに関する助言を"伝わる形"で行う
3			